

教科名	対象学年	使用した資料（参考にした資料）	TYPE
国語	中学2年	授業アイデア集【中学校版】p7, 8	Ⅲ

授業内容	三角ロジックを使って、説得力のある意見文を書こう。
身に付けたい力	説得力のある意見文を書く力。

教科名	対象学年	学校名	課題の見られた問題	TYPE
国語	2年	秩父市立影森中学校	27年度 全国 B2 B3	Ⅲ
授業の内容	三角ロジックを使って、説得力のある意見文を書こう。			
身に付けたい力	説得力のある意見文を書く力。			
【事例】三角ロジックを使って、説得力のある意見文を書こう。(全4時間)				
1 意見文についての確認				
①「意見文」とはどのようなものか説明する。				
②双括型、頭括型、尾括型など、作文における型の種類を説明する。				
2 意見文を書くための土台づくり				
①書く意見文のテーマを決め、自分の立場を考える。				
②意見を支える根拠(自分の体験等)を、ワークシートにまとめる。				
3 構成メモ作成				
①教師が三角ロジックについての説明を行う。				
→三角ロジックを使うことによって双括型の文章のイメージをつかめるようにする。				
②自分の意見に沿って、三角ロジックに「意見」「事例」「解釈」を記入する。				
→事例、解釈はそれぞれ2つか3つ。それ以上は書かない。				
③三角ロジックに記入した内容を構成メモにあてはめ、作文の形にする。				
→接続語を使い、文と文のつながりが途切れないように。				
4 清書&意見文発表会				
①前時に考えた構成を元に原稿用紙に意見文を書く。				
→構成メモに内容を加え、説得力のある意見文にする。				
②意見文を3人組で交換して読み合い、観点に従って評価する。				
→良かったところと一言アドバイスを必ず一つずつ書く。				
③評価を受けて、今後に生かしていきたいところを記入する。				
→今後、意見文を書く機会には、何に気をつけて書きたいのか考えをまとめる。				
④代表者を決め、全体発表会を行う。				
→代表者の発表を聞いて自分の意見文と比較する。今後の参考にする。				

◆三角ロジック◆

双括型はサンドウィッチ!
パン(意見)で具(事例・解釈)をはさむイメージ

◆三角ロジックで考えた内容を型にあてはめる&友達からアドバイスをもらう◆

意見①	事例①	解釈①	意見②	事例②	解釈②
私は「明日は晴れる」と考える。	第一に「天気予報に書いてあった」からである。「気象庁の天気予報は、信頼性が高い」とその気象庁が「降水確率も10パーセントだ。」	第二に「夜空に星が輝いていた」からである。「夜空に星が輝いている」ということは、空は晴れているという事だ。	私は「明日は晴れる」と考える。	第一に「天気予報に書いてあった」からである。「気象庁の天気予報は、信頼性が高い」とその気象庁が「降水確率も10パーセントだ。」	第二に「夜空に星が輝いていた」からである。「夜空に星が輝いている」ということは、空は晴れているという事だ。

【授業のポイント】

- ★三角ロジックを使うことによって、意見文の構成を型として捉える!(双括型)
- ★的確に思考ツール(今回は「三角ロジック」)を使うことにより、自分の考えを可視化させ、意見文を書きやすくなる!
- ★授業形態の工夫により、友達と意見を共有し、自分の考えを広げられるようにする!

【授業のポイント】

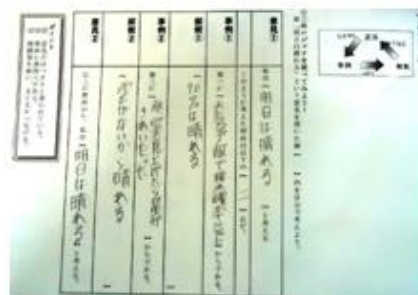
○三角ロジックを使うことによって、意見文の構成を型として捉える。(双括型)

【授業の様子】

- 意見文の型を知る。
「尾括型」「頭括型」「双括型」の説明。意見文を書くことだけに活用するのではなく、説明的文章の読解にも繋がることを説明した。
- 三角ロジックについて知る。
三角ロジックについて、具体例を交えて説明する。「明日は晴れる。」という意見に対して、事例①「気象庁の天気予報で晴れ、降水確率10%と言っていた。」、事例②「夜空を見上げたら星がきれいに見えた。」、解釈①「90%は雨が降らずに晴れる。」解釈②「空には雲がなく、雨は降らない。」を板書して説明する。それぞれを結ぶ接続語を付け足し、意見→事例→解釈→意見で双括の意見文が完成することを説明した。

【効果】

- ・意見文を書くときにどう取り組めば良いのかわからないという生徒も、易しい課題で三角ロジックという「型」に当てはめて取り組むことで、比較的容易に双括型の意見文を捉えることができた。



【留意点】

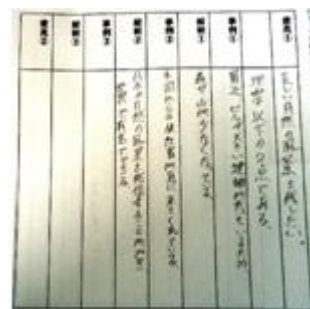
- ・板書を写すときに迷う生徒には個別の声かけを行う。
- ・板書以外の事例や解釈も励行し、書くことができたなら紹介する。
- ・意見から出発し、意見に帰着することを繰り返し説明する。

【授業のポイント】

○的確に思考ツールを使うことにより、自分の考えを可視化させ、意見文を書きやすくする。

【授業の様子】

- ・三角ロジックを使って、平成27年度埼玉県公立高校入試問題の作文問題に取り組んだ。「百年後の日本に残したいもの」を三つの選択肢から一つ選んで「意見」とし、「事例」「解釈」を考えてプリントの表に書き入れた。自分の考えを可視化してまとめることができた。



【効果】

- ・三角ロジックという思考ツールで意見文を「型」として捉え、考えを可視化して整理することで、高校入試の問題も容易に解くことができた。生徒は比較的高得点を取ることができ、作文に対する苦手意識を和らげた。なかには入試問題を解くことによって自信をもった生徒もいた。



【留意点】

- ・書けた答案はその場で採点を行い生徒に返却。
- ・机間指導をしながら以下の声かけをする。
 - ① 適切な接続詞の選択。
 - ② 事例と解釈の連結。
 - ③ 正しい原稿用紙の使いかた。
 - ④ 減点項目の正しい書きかた。

